

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



かつやく とし
活躍した年:

1880~1943年



かつやく ぶんや
活躍した分野:
じつぎょうか
実業家



ゆかりのある場所など:

- おおはらびじゅつかん
・大原美術館
- くらしきぼうせきねんかん
・倉敷紡績記念館
- きゅうおおはらけいじゅうたく
・旧大原家住宅
- こじまとらじろう
・児島虎次郎



おおはら まごさぶろう
大原 孫三郎

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



おおはらまごさぶろう めいじ
大原孫三郎は明治13（1880）年、今の倉敷市で紡績を営む大原孝四郎の三男として
う
生まれました。

こ 子どものころは習字と図画が上手でしたが、奔放な面もあってあまり学問を好まない青年
でありました。

まごさぶろう おかやまこじいん いしいじゅうじ こうえん き かんどう しんきいてん は
孫三郎は、岡山孤児院をつくった石井十次の講演を聞いて感動し、心機一転を果たすと、
いしい けいえい おかやまこじいん しえん ひろ しゃかい いぎ きぎょうけいえいしゃ
石井が経営する岡山孤児院の支援をはじめ、「広く社会に意義あることを」と、企業経営者と
え りえき しゃかいじぎょう と く
して得た利益でいろいろな社会事業に取り組みました。

めいじ ねん くらしきぼうせき しゃちよう しょうがっこう で しょうこう おお
明治39（1906）年に倉敷紡績の社長になると、小学校さえ出ていない職工が多いの
おどろ こうじょうない じんじょうしょうがっこう せつりつ まな しきん じもと してたいしょう おお
に驚き、工場内に尋常小学校を設立し、学びたくても資金がない地元の子弟を対象とした大
はらしょうがくかい はじ じょう よ じゅうぎょういん おおべや きしゅくしゃ はい
原奨学会を始めました。また、「女工」と呼ばれていた従業員のために、大部屋の寄宿舎を廃
し しょうにんずう く ぶんさんしきさぞくてきしゅくしゃ けんせつ じゅうぎょういん けんこう ふくし こう
止して少人数で暮らせる「分散式家族的寄宿舎」を建設するなど、従業員の健康と福祉を向
じょう じつせき
上することでも実績をあげました。

たいしょう ねん おおはらしょうのうかいのうぎょうけんきゅうじょ いま おかやまだいがくのぎょうせいふつけんきゅうじょ せつ
大正3（1914）年には、大原奨農会農業研修所（今の岡山大学農業生物研究所）を設
りつ うんえい おお とち ていきょう けんきゅうじょ おかやまめいさん
立し、運営のために多くの土地を提供しましたが、この研究所では、岡山名産となるマスカッ
トや白桃が開発されました。

たいしょう ねん じゅうぎょういん くらぼうちゅうおうびょういん いま くらしきゅうおうびょういん
さらに、大正12（1922）年には、従業員のために倉紡中央病院（今の倉敷中央病院）
せつりつ いっぱんしん ひろ かいほう
を設立すると、一般市民にも広く開放しました。

ぶんかじぎょう おおはらしょうがくせい ようがく こじまとらじろう きょうりょく あつ せいようびじゅつ
文化事業としては、大原奨学生であった洋画家・児島虎次郎の協力で集められた西洋美術、
きんだいびじゅつ てんじ しりつびじゅつかん にほんさいしょ おおはらびじゅつかん ゆうめい
近代美術を展示する、私立美術館としては日本最初のものとなる大原美術館が有名です。

まごさぶろう め ねんさき み くち じぎょう かくだい ほうし
孫三郎は、「わしの眼には10年先が見える」という口ぐせのとおり、事業の拡大と奉仕の
せいしん ぶんや じっせん いだい じつぎょうか
精神を、さまざまな分野で実践した偉大な実業家です。